

道徳だより



家庭と学校
力を合わせて

テーマ たいせつなきまり（規則の尊重）
『通学路』（5年生）

ピアノのおけいこがあるのに、委員会で遅くなってしまった…そんな状況で、通学路を下校するきまりを守るか、「駐車場を横切っはいけない」というきまりを破って早く下校するかに迷う「わたし」。「皆しているんだし…。」、「皆のために仕事をしていたんだから…」、「他の人にばれなければ…」そんな考えが「わたし」の頭の中をよぎりました。

結果として、自分本位の誤った判断から事故になりかけ、また友達に通学路を破ったことが知られることとなりました。

学習を通して、「きまりを破ることはどうしていけないのか」「なぜきまりは大切なのか」など、きまりや法の意義をしっかりと考え、安心、安全な社会生活のためにどう行動すればよいかを考えました。



児童のふり返り



- きまりは、自分や他の人が安心・安全に過ごすためにあるとさらに分かりました。そして、このことを心の中に入れてきまりを守りたいです。
- 私が新たにわかったことは、きまりをやぶれば少なくとも多くても、必ず人に迷惑がかかるということが分かりました。これからはきまりを守るようにしていきたいです。
- きまりは、自分の命や周りのことにかかわりがあることだと分かりました。また、一人一人が「きまりを守る」ということを意識することが大切だと分かりました。

担任より

「きまりって、どうしてあるのだろう？」と、考えたことはありませんか？きまりがあることによって、きゅうくつに感じる時もあるかもしれませんが、しかし、きまりは、私たち一人一人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあるものです。そして、自分勝手な気持ちではなく、それらをしっかりと守ることで、自分だけでなく周りの人の権利を尊重することも大切です。

自分に何ができるのかを考え、進んできまりを守ることができるといいですね。